



### 年頭のごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。

平成 26 年、世の中の乱れとともに福島県や宮城県などの東北の大地震の復興もなかなか進んでいるようには見えず、台風や竜巻と次々と起こる災害の中、障害者にとっても生きづらいものがあります。

当協会の事業も障がい者就労支援センター、の一ま、資源化センターで行っておりますが、地域の中で自由に生活することの難しさを痛感しております。また、重要な役割を科せられている私たちの支援への対応、福祉サービスをより良いものにしていきたいと思いますので、皆様方のご支援を改めてお願い申し上げます。

理事長 布施 千鶴子



### ■多摩市障がい者就労支援センター

一般企業で働いている方たちを対象に毎月第 3 土曜日に開催している生活支援プログラム。11 月は、多摩中央警察署から防犯・防災の専門家をお呼びして、身近に忍び寄る犯罪や台風、地震などから身を守る方法を教えていただきました。

最初に、スマートホンや携帯電話を使った、いわゆるサイバー犯罪についての DVD を鑑賞。無料アプリや SNS に潜む詐欺や脅迫犯罪に近寄らないよう、日頃から注意しておくべきことを勉強しました。



第 2 部は万引きや痴漢など実際の犯罪行為を想定した寸劇形式での講義。中央署の方が犯人と被害者に扮し、交番のおまわりさんが取締まるといもので、真に迫った演技で、参加者全員に犯罪の危険性と対処法が十分伝わったのでは

ないかと思えます。

最後は、台風や地震、火災などの災害への備えと、起こったときに気をつけることを教えていただきました。

ポイントは、①普段から非常食や水を用意しておくこと②貴重品はまとめておきすぐに持ち出せるようにしておくこと③実際に火事や地震に見舞われたときはあわてないで行動することの 3 つです。

年末年始はなにかとあわただしい時期です。こういうときこそ気をゆるめず、犯罪や災害を寄せ付けないうみんなで見守りましょう。

今回、来ていただいた多摩中央警察署防犯係の伊藤さんと警備係の森原さん、地域課の斎藤さん。ありがとうございました。



痴漢は犯罪。被害にあったり見つけたら 110 番

## ■支援センターの一ま

昨年10月19日20日と、当施設のある健康センター全館でつむぎ館まつりが開催されました。来場者は2日間で600人にも上り、連日大賑わいでした。例年行っている竹とんぼ、手相占い、視覚障害者福祉協会によるマッサージ、他。新たに注意欠陥障害の体験、視覚障がい者にも楽しんでもらうため副音声付映画上映、若人塾によるアクリルモップづくりを行いました。地域の多くの方に楽しんでいただくとともに、催しを通じての一まの事業や障害を理解していただく良いきっかけとなりました。また利用者にとっても、地域の方を案内したり、作品の作り方を説明したりすることにより、たくさんの方と触れ合う機会を得、自分の役割を果たす喜びを感じることができたようです。

12月7日にはお楽しみ会を行いました。1年の締めくくりとして、コーラスのプログラム発表や、全員合唱、ゲーム、クイズ大会で盛り上がるとともに、来年度の抱負や、希望をインタビュー形式で聞きました。利用者それぞれが目標を持ち、新たな気持ちで新年を迎えるためのいい機会となりました。



## ■資源化センター運営事業

新しい年を迎え、気持ちを新たにすると共に私たちの繁忙期は始まります。資源化センターでの作業は、多摩市内の一般家庭から排出されたリサイクルびんの手選別を行っておりますが、その量は年末から徐々に増え始め年明けにはピークに達します。一年を通じて一番の搬入量を記録する年末年始には通常の二倍以上のびんが搬入され、私たちが手選別する量もそれに比例します。毎年この時期を迎えると『本当に自分たちに乗り越えることが出来るのだろうか、周りの足を引っ張らずに出来るだろうか』そんなプレッシャーに押し潰されそうになります。しかし、私たちはこの時期を『自分たちの力を試す時』そう前向きに捉えて作業にあたるようにしています。どのようにすれば安全に作業ができるのか、どのようにすれば間違えずにできるのか、試行錯誤を重ねてきた答えを今ここで試すのです。右も左も分からずに始めたこの仕事もたくさんのびんを選別してきた事でとても大きな自信となりました。暑い夏には大量の汗を流し、寒い日にはかじかむ指を懸命に動かしこの事業を続けてきました。所員六名、職員四名、これからも安全第一・品質第二を目標に頑張っていきたいと思っております。

## ■移動支援 ガイドヘルパー派遣事業

寒い冬ですが、年末年始には、イルミネーションが見たい・初詣に行きたいと移動支援サービスの利用をされる方が多くいらっしゃいます。いつも仕事先と家との往復だけ、いつも家族の方との外出…だけではなく、話しをしたり食事をしたり、今まで行った事のないところに行ってみたり、自分の事を分かってくれるガイドヘルパーさんと出かけることも楽しい経験です。

障がい者（児）の方が安心して外出できるように付添いのガイドヘルパーを派遣し、自立と社会参加のお手伝いをさせていただくことが、移動支援事業のサービスです。まだご利用されたことのない方も、ぜひお手伝いさせて頂きたいと思っております。「地域生活支援事業利用者証」をお持ちの方のみこのサービスをご利用できますが、まだお持ちで無い方は、多摩市健康福祉障害福祉課にご相談ください。

## ■第23回多摩市障がい者美術作品展のご報告

今年度もたくさんの来場がありました。ご協力して下さった多くの方々に心より感謝を申し上げます。

開催日：平成25年11月17日（日）～24日（日） 8日間

会場：パルテノン多摩 市民ギャラリー

出展者数：556名

展示作品数：533点

入場者数：2020名

協賛企業：19社

さ

あ

ん

な

い

### 第12回 多摩市障害者福祉協会講演会

開催：平成25年2月7日（金）10:00～12:00

開場：関戸公民館

テーマ：家族で支える・地域で支える！！発達障害とどう付き合うか

～当事者・家族・支援者として

### ●ふれあいスポーツ大会 出場者募集中

日時：平成25年3月1日（土）

10:00～15:00

場所：多摩市総合体育館